



南城市のこれからを考える地域円卓会議

新市役所隣にできるアリーナ施設、
市民参加で有効活用する方向性を探る

実施報告書

日 時： 2016年8月7日（日）14:00-16:30
場 所： 南城市役所大里庁舎 3階市民ギャラリー
主 催： 南城市

報告書作成
NPO 法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

【報告】南城市のこれからを考える地域円卓会



■日 時：2016年8月7日（日）14:00-16:30

■場 所：南城市役所大里庁舎 3階市民ギャラリー

■着席者数：7名（論点提供者、司会、記録者含む）

■来場者数：27名（企業・行政・NPO・市民）

■主 催：南城市

■協 力：公益財団法人みらいファンド沖縄、
NPO 法人まちなか研究所わくわく

■お問合せ：NPO 法人まちなか研究所わくわく

論点提供 喜瀬 斗志也 氏（南城市役所企画部 観光商工課 主任主事）

新市役所隣にできるアリーナ施設、市民参加で有効活用する方向性を探る

南城市は、ユインチホテル南城の周辺に様々な機能を含んだ中核地の形成を目指しています。中核地には、市役所新庁舎やイベント時に必要な大駐車場、交通の拠点施設などが整備される予定です。また、近い将来、那覇空港第2滑走路の増設や南部東道路の建設に加え、東浜に大型MICE施設が整備されるなど、南城市を取り巻く観光インフラの環境が大きく変わることから、観光コア（仮称）機能も中核地に必要であると考え、基本構想の策定を行っています。

中核地においては、現在南城市民が1,000名以上集まって集会などを開催できる施設が無いということや、市内公共施設の耐用年数経過に伴う統廃合などから、アリーナ施設（競技場・劇場・集会場などの施設）も必要であり、観光コア機能と併せて検討してきました。

そこで、今回は地域円卓会議を開催し、市民のみなさんや関係者、専門家の方々と一緒に、市における様々な条件を踏まえながら、この地に相応しいストーリーについて考えていきたいと思っています。

センターメンバー



喜瀬 斗志也

南城市役所企画部
観光商工課 主任主事



西村 松青

新里区
区長



相澤 和人

イーストホームタウン
沖縄株式会社
代表取締役



久山 志信

ウェルネスリゾート沖
縄休暇センター ユイン
チホテル南城 総支配人



金城 良治

株式会社ストリズム
代表取締役

➤ 円卓会議に参加いただいた皆さんから

事実の提供

- ユインチホテルの隣に新市役所とアリーナを建設予定。また、その横に駐車場2千台規模の予定
- 予定敷地：3710㎡、建物：2200㎡、席数：1000席
- 災害時の避難場所、多くの市民が集まる行事、観光客と市民の交流の場の必要性から整備予定
- 施設は平成32年度あたりに完成予定
- 今後5年で町が大きく変わっていく。南部東道路の整備、MICE、中核地の形成、空港滑走路が作られる
- 沖縄市等、県内各地でアリーナ整備が検討されている
- 南部東道路で空港から20分圏内でアクセスできる
- 南城市の観光について、市民ワークショップとインタビューを重ねてきた。「市民の生活が土台、そのままの魅力を発信するべき！」等のアドバイスを頂く
- ユインチホテルは、2009年から民間運営、53室。天然ガスを活用して電力の20%をまかなっている。ウェルネスを中心とした宿泊プラン
- 基本構想→基本計画→基本設計の流れで、今は構想段階、やりたいことを自由に意見交換できる時期
- 新里区に関すること
 - 尚巴志の最初に住んだ場所、戦後は沖縄民政府があった場所、現在950名の住民、拝所が56ある
 - 新里区としてもアリーナ整備には期待。体育館と併用の公民館が古くなっている。室内運動会（約300名）を行っているので、使用したい
 - 新里びら（坂）で年間30件の交通事故が増えないか心配。観光客に生活（家）をのぞかれないか心配
- 観光客に関すること
 - つきしろ地区での民泊において、区長さんがヒーローになった。観光客は地元の方と触れ合いたい
 - 地元の人が行く「うしお」などの居酒屋に観光客を連れて行った方が喜ぶ
 - リピーターの3,4回沖縄に来た人が南城市に来る
 - もあいに参加したい。というイスラエルの方がいる

事例の提供

- 知念漁協では、市民が参加できる朝市があり、一般の人がセリに参加できる。仲買人の休みを有効活用
- 島尻の消防団に参加できる企画「燃やすのは脂肪で十分だ！島尻消防トレーニング！」

視点の提供

- 観光コア施設とは、「観光客の入口としての機能（情報発信等）」と「地元と観光客の接点となる機能」がある
- 市民が集まる地域の行事は多く、市民が集まる所をつくり、交流する場として観光コア施設を考える
- 作られものではなく、地元の人の為のもの・場所に観光客は行きたいと思う
- 市民も忙しいので、「市民の営み」の隙間・空き時間を有効活用する
- 地域資源・市民の価値を外に開放していく
- 新里区で提供できるコンテンツは、伝統芸能の復活と継承、おどりの発祥の地である、という事。お披露目できるのは、励みになるはず。できるのが楽しみ
- 地域にとっては、負担とインセンティブが重要になる
- 「地域資源」⇔「外から評価」は元気になる好循環
- 普段使いを考え、誰のための施設かを考え、アリーナというネーミングも再検討しては
- 観光コア施設のアイデア
 - ちょっとした悪ノリ感のある企画も大事
 - 伝説として、新里区の丘の上にアマミキヨのお墓がある。そこに誰か住んで説明する、など
 - 南城はパワースポットでもあるから、新しい拝所を地元で作るとか、拝所を活用した婚活パーティーを行う
 - 1~2月はキャンプのシーズン、サッカー、陸上、野球等の問合せがある。室内練習場に特化
 - 健康に特化した、ウェルネス的な施設
 - ローカルの魅力を発信。学生の学びの場。学会など多機能な施設
 - 南城市伝統で、年数回しかない出番がない獅子舞の伝統芸能、みるくさまの披露する機会を作る
 - コア施設の中に居酒屋を作る
 - 沖縄の結婚式を1テーブル3万円で売り出す

評価の提供

- 南城市内には70地区がある。区長は1~2年で変わる、様々な考えがあるので円卓会議を続けて欲しい
- 地元の芸能活動は40人くらいで行うので、アリーナ施設の大きさと活用のイメージにギャップがある
- まだ、ハコ（施設）のイメージが漠然としている

➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

- 市民の集える場所として議論するため、「アリーナ」という表現を見直す。
- 市役所+駐車場、ホテル等のインフラを活かした、市民の拠り所とする。
- 南城市民の営み・行事等を情報発信する、観光客と市民の交流の場とする。

■参加者によるサブセッション

「アリーナ建設予定地をどう活用するか？」(原文のまま)

①世界に匹敵する文化・歴史・自然資源

- ・情報発信 ・4地区の交流と連携
- ・人材育成 ・市民が関われるプログラム
- ・県内1のウェルネスモデル地区

②子どもが集える

- ・バーチャル伝統芸能・スポーツ体験
- ・資料館・図書館
- ・まわりに遊歩道整備

③健康施設(まとめる)

- ・つどいスペース
- ・災害時の避難所
- ・いやしエリア
- ・多目的オープンスペース(パーテーション・展示会とか?)

④市民が喜ぶ 地域行事(綱引き、綱作り)

- ・図書館、公園的な。
- ・親子で過ごせる。
- ・健康増進
- ・コア施設+@ (バスターミナル統合) 交通コア

⑤・地域行事→集落収入

- ・練習の場無料→観光客見せる前提
- ・図書館→地域資料、芸能
- ・おまけ:交番・家を覗かれないか心配→まもる君出

⑥・時間をつぶせる場所

- ・屋根付きの公園
- ・期間限定 テストマーケティング的な事業ができる
- ・市民がビジネスできる場所

⑦・サイクリングの拠点⇒おでかけなんじいを使って乗り捨てなど。

- ・市民交流の定義は?⇒市民にどこまでお願いできるのか?

- ・子どもターゲットの楽しいこと(イベント、託児所、学童クラブ)→親は別で楽しいこと。

⑧・スポーツ 尚巴志マラソンのアフターパーティー

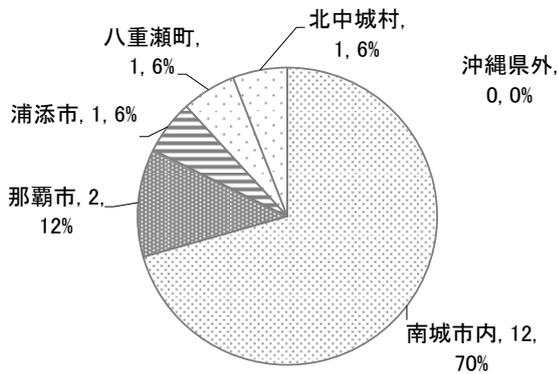
⑨・設ける施設・宿泊の拠点

南城市のこれからを考える地域円卓会議 参加者アンケート集計

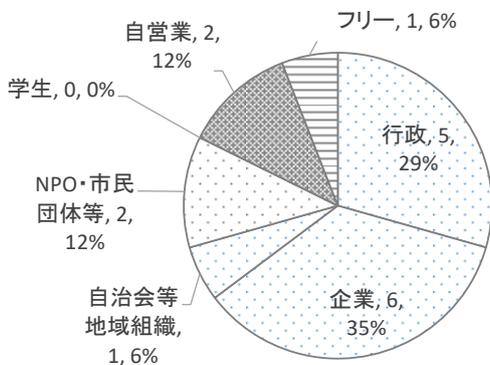
◆概要

- ・日 時：2016年8月7日(日) 14:00-16:30
- ・場 所：南城市役所大里庁舎
3階市民ギャラリー
- ・着席者：7名(司会、記録含む)
- ・参加者：27名(アンケート回収17名、回収率63%)

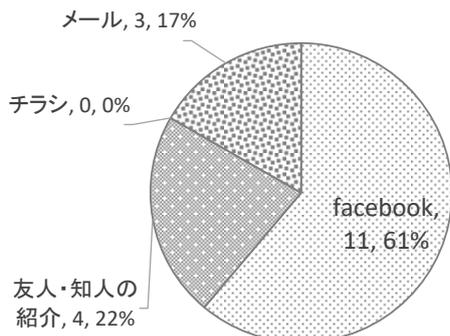
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



4. 満足度

平均：4.1 (5点中)

満足度	人数
5. 満足	5名
4. 概ね満足	7名
3. ふつう	4名
2. あまり満足していない	0名
1. 不満足	0名
未記入	1名

5. 満足度の理由

(5. 満足)

- ・「地域円卓会議」という企画に初めて参加しておもしろいと思った。
- ・着席者の方からいろんなアイデアを得られた。参加者との方とのグループディスカッションで様々な意見交換ができた。
- ・市民が集まるにぎわいの場を作ることが地域の活性化につながる事が分かった。子育て世代、子どもと母親が充実した場であってほしいとの考えもあった。

(4. 概ね満足)

- ・フロアの意見も集約し、着席者だけでなく多くの人の意見アイデアを聞く機会となった。
- ・観光コア施設を考案する中で、様々な意見があり、市民参加型の施設の考案が多く、やはり市民のための施設が必要であると感じた。ただ、観光客との交流拠点の施設でもあるので、地区民の日常へ支障がでるか、新里坂の事故が増加しないかは多少不安がある。

- ・様々な意見、話しが聞けてよかった。ただアリーナの使い方は多用すぎて難しい感じがした。さらにアイデアをしばって選択できるくらいにしたい。

(3. ふつう)

- ・具体的な話になっていくには、もう少し掘り下げた会が必要と感じた。要望、案→実際にやる、やらない、出来る、出来ないのすみ分けが必要
観光コア＝市の展望
アリーナ施設＝市民が活用できるように
↑考え方にズレがないか？ 本当の市民の要望をもっと引き出してほしい。

・作る事と、何をやるのか？が具体的になく少し残念でした。他の市町村にも似た施設が出来る中、南城市の方向性をもっと出て来る事を期待します。

・やりたいことが明確でない中での議論... はじめの設定があいまいかも

6. 印象に残ったこと

・やはり、地元の地元による地元のためのコア施設だと思います。観光は+αだと思います。

- ・結婚式の参列
- ・稼働率や民間（地元）利用と観光利用の割合の議論が必要と感じた。
- ・営みのスキマ時間
- ・日々の地域の方の生活や行事がそのまま観光（体験）の目玉になる。地元の空き時間
- ・○地元負担が少ない様に！○バーチャル
- ・地元行事+観光、市民が集える場所、ユインチさんと南城市ウェルネスの拠点としたい。
- ・「市民の営みの空き時間を活用する」ということは重要だと思った。観光客が満足し、地域住民の負担も少ない交流のあり方をアリーナ施設の活用も含めて考える必要があると思った。
- ・ストリズミ（株）の金城さんの意見で”市民の

空き時間をどう使うか”という言葉が印象に残っており、前回の市民 WS でも市民の皆さんが活用できる場としての”日常的”な活用ができる施設というのは重要だと感じた。そこに観光客が訪れることで”地元の日常”と”観光客の非日常”が重なる施設は面白そうだった。

・「市民の空き時間」→一般市民も忙しいという意見に同感です。普段のルーティーンでやっているものに目をつけて、負担なく、又は財源ができる市民参加型の施設ができればいいなあと思った。

・地域行事の参加が減っていて担い手不足とよく聞くので、外から参加し、お金もおとしてくれる仕組みができれば！！→地域の中心拠点で情報が集っている場

・公共施設、例えば図書館、都市公園の中にバスケットコート、テニスコート、遊具もあった方がいいという意見もあった。バスセンターがあったら公共交通機関の機能強化になる。観光案内所とデマンドバス、観光巡回バスとの連携も可能になる

・南城市観光の始まりの場所にできたらいいなあと感じた。1000名規模という事で、自分のライブ会場にしたい。個人的意見として。。

(写真) 会場の様子

